とくしまの学校における働き方改革通信 ～うぇるびーいんぐ～

Vol.12
令和５年７月号

今月号のテーマ

「第１回働き方改革推進チーム会議」開催と意見交換について

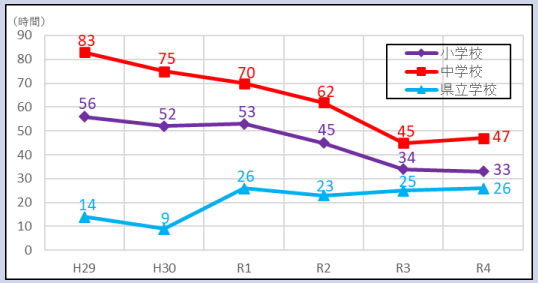
管理職・中堅・若手教員の１５名のメンバーとともに、
学校現場における取組や課題について意見交換を行いました。

メンバーの方からいただいた貴重なご意見をしっかりと受け止め、取組の好事例を横展開するなど、第2期プランに基づき、働き方改革を推進して参ります。
未来を育む教育の推進ために、皆で一丸となった教職員の「働きやすい環境づくり」をお願いします。

県教委より

現状と課題

○令和４年度時間外在校等時間は
・小 学 校：約３３時間
・中 学 校：約４７時間
・県立学校：約２６時間



県教委による令和４年度時間外在校等時間調査より

○新型コロナウイルス感染症の５類移行により、教育活動が従前に戻りつつある。
○一方、感染症対策は依然続いており、教職員の多忙感は払拭できていない。

解決するため

・出退勤システムへの正確な打刻
・チーム学校として、職員研修や学校運営協議会の活用
・教員の業務平準化と部活動の適正化

好事例・取組の紹介

松茂中学校

・**チーム担任制の導入による働き方改革**
担任業務を離れた時間を授業準備や教材研究の時間に充てることができた。
また先生方も情報共有に努めることで、悩みを一人で抱え込むことがない。
・**校務分掌の見直しと適正化**

各校務分掌を進めていく中で業務の偏りがあるのでは？

学年ごとに考える方法はないか？

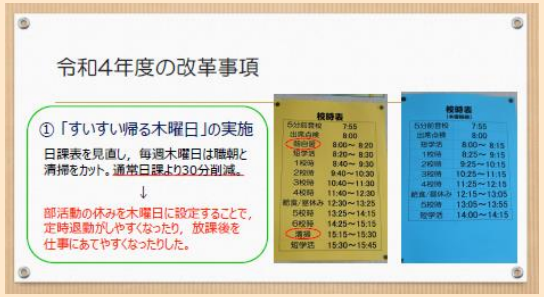
複数で対応できないか？

学年別の担当分掌が機能しているか？

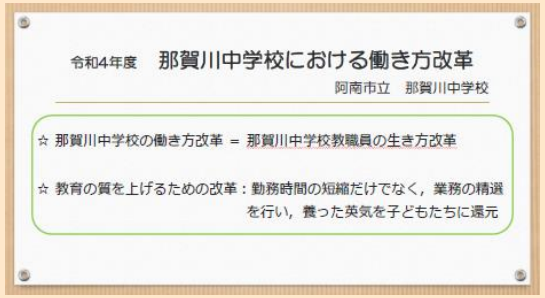
校務分掌の統合や分解が必要ではないのか？

那賀川中学校

・**日課表の全面的見直し**



・**保護者への周知と協力依頼**
・**定期テスト期間の教員のゆとり確保**
テストの初日（２日目）の午後には会議を入れない。
・**文化祭・体育祭の半日開催の継続**
・**部活動に関する規定の遵守**



意見交換（メンバーからの意見）

○小中学校
・「長く働く先生がかっこいい、よい先生である」という雰囲気がある。長く働きたくても働けない人（家庭の事情等）もいる。
早く帰ることで熱心でないというレッテルが貼られるのは非常につらいという意見もあり、そのように感じる人が少しでもなくなるようにしていきたい。
・とにかく「人員の確保」をお願いしたい。

○高校
・試験の作問・採点や部活動に多くの負担を強いられている先生方が多い。時間割の変更担当も負担が大きい。
・学校行事等の精選、校務の平準化はまだできる。
・働き方の「理想」と「現実」に差があり、要因を明確にしなければならない。
・問題解決のためには、出退勤時刻の正確な打刻を徹底し、問題点を洗い出さないといけない。

○特別支援学校
・生徒の実態把握と理解への時間は削れない。
・業務が分担できるところへ支援を。

編集●徳島県教育委員会教育政策課　代表メールアドレス　kyouikuseisakuka@pref.tokushima.jp
〒770-8570　徳島市万代町1丁目1番地　　kyouikuseisaku@g.tokushima-ec.ed.jp（グループウェア）

■ご質問やご感想、また取り上げてほしいテーマをお待ちしています！

『R4年度働き方改革推進チームからの意見』はこちら▷